

## 平成30年成人を祝う会 祝辞

「平成30年 宮崎県立都城さくら聴覚支援学校 成人を祝う会」にあたり、祝辞を述べさせていただきます。本校第23代校長の久保田一史です。

新成人の皆さん、「成人」おめでとうございます！！

また、皆さんを今日まで愛情深く育ててこられた保護者の皆様をはじめ、御家族の皆様にもお慶びを申し上げます。本校で指導をいただきました諸先生方や、温かく見守っていただきました地域の方々にも、敬意と感謝の念を表したいと存じます。ありがとうございます。

新成人の皆さんは、平成9年（1997年）4月2日から翌10年（1998年）4月1日までの間に生まれ、さくら聴覚支援学校を卒業された方々であります。在学中、いろんな出来事を経験したことと思いますが、今、何を一番に思い出すでしょうか。

文化祭や体育祭は今年度もとても素晴らしく、生徒も保護者も一緒に盛り上がりました。皆さんの築いてきた歴史を継承していることを実感できて頼もしく思ったところです。

ところで、皆さんが誕生した平成9年はどんな年だったでしょう。

トヨタのプリウスやアサヒスーパードライが新発売され話題になったり、消費税が5%にアップした年で、日本サッカーが悲願のワールドカップに出場した年です。

あれから20年。経済はなかなか先行きが見えない状態で、政治は内政、外交ともに課題山積。一方、情報通信技術やロボット技術、AI などをはじめとした科学技術は急速な進歩を見せています。在籍していたころ、「東日本大震災」が日本を襲いました。そして一昨年は熊本で大きな被害を受ける震災が起き、今なお生活に影響を及ぼしています。このような時代に、皆さんは育てられ、育てて来られたのです。

さて、そのような中、皆さんは今日成人式を迎えました。

「今日から成人だ、大人だ」と言われても、日付が変わるようには、人は一気に子どもから大人になれる訳ではないと思います。それに「大人になるとはどういうことなのか」「大人になるにはどうしたらよいのか」、なかなか簡単に答えられるような問いでもありません。

おそらくここに集まりの大人の皆さんもそうだったように、少しずつ、大人への階段を上り、しっかりとした成人になられたのではないかと推察します。

皆さんも御承知のように、いま日本では、少子高齢化、人口減少が進む中であって、国も県も市町村も、元気な国や地域をつくっていくために、懸命な取り組みをしております。都城も「幸せ上々都城」のキャッチフレーズで「創生」に乗りだし、ふるさと納税日本一に連続で輝くなどの活躍が光っています。宮崎県も全国和牛共進会で連続日本一のブランド宮崎牛や焼酎出荷量日本一でも活気付いているところが見られてうれしい限りです。

新成人の皆さんには、ぜひ地元宮崎で活躍をお願いしたいところですが、それぞれの夢を実現していくために、様々な場所で工夫しながら輝いて行ってほしいと思います。

今日の佳き日に当たり、皆さんの御家族だけでなく、多くの方々が新成人の皆さんを祝福しております。これからの国や地域社会を担う若い皆さんの力に大きな期待を寄せております。それぞれの目標の達成に向かって歩んでください。

また、本日の成人式を行うに当たっては、PTA や本校職員をはじめ様々な方々の尽力によっております。今日までの御尽力に対し、深く感謝を申し上げます。

結びになりましたが、新成人の皆さんの前途に幸多からんことを祈念し、併せて、御参集の皆様にとって本年が良い年となりますようお祈り申し上げ、私の祝辞といたします。

ありがとうございました。

平成30年1月4日